【報告】第6回神奈川県特定施設研究大会

去る2月22日（金）に「第6回神奈川県特定施設研究大会」を開催致しました。今回は、基調講演にて柏木哲夫氏をお招きし、「寄り添うこと」をテーマとして開催されました。
当日は、介護関係の施設や事業所にお勤めの方や、出展企業の方など250名近くの方にご参加いただき、大いに盛り上がりました。

大会テーマ：「終の棲家（ついのすみか）」

【日時】平成25年2月22日（金）10:20 ～16:30 【場所】横浜市開港記念会館 講堂
【参加者】約250名 【協賛企業】15社

◆開会式
主催者あいさつ
（公社）かながわ福祉サービス振興会 専務理事 瀬戸 恒彦
来賓あいさつ
神奈川県議会 厚生常任委員会 委員長 赤野たかし氏

◆基調講演

終の棲家(ついの棲家) ―生きること・寄り添うこと―

◎柏木哲夫氏 学校法人金城学院 学院長/大阪大学名誉教授/日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長/淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）

夫婦や親子であってもすれ違うのはなぜか、最愛の人との別れをどう乗り越えられるか…ホスピス医として、精神科医として多くの患者と接してきた柏木哲夫さんにより、「ホスピスに関わって感じたこと」「死の迎え場所の変化」「準備なしに死を迎えることの重要性」などについて、ご講演を頂きました。
関東圏において、柏木哲夫さんの講演は大変貴重で、感動的なお話し頂き、ご参加された方々はもちろん、当日の運営スタッフの琴線に触れたとのご感想を多数頂きました。

◆研究発表

「終の棲家（ついのすみか）」～最期まで寄り添うケア～

◎ 座長 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 谷口 政隆 氏

今回は、「終の棲家（ついのすみか）」ということで、終末期をどう迎えて頂くか、大変に重いテーマとなり、13演題と少なめの応募ではありました。その中から厳選された7演題について口頭発表をしていただきました。
また、従来の特定施設の発表のみならず、新たに介護老人保健施設からもエントリーがあり、口頭発表へ進みました。

（発表演題）

	演題名	所属
1	今日を生きる場所～気丈なる63年の生涯に歩み寄る11か月	セコムフォート株式会社 コンフォートガーデンあざみ野
2	「そして、小僧居なくなった」～認知症と向き合い、有料老人ホームで穏やかな日々を～	工藤建設株式会社 フローレンスケア美しが丘
3	日常の言葉を大切に～心の言葉を引き出すために～	日総ニフティ株式会社 すいとぴー新横浜
4	「私、死んじゃうの？」～死と向き合うS様と共に寄り添って～	工藤建設株式会社 フローレンスケア港南台
5	安心して終末期を送れる「終の棲家」を目指して　～看取りチームを立ち上げての取り組み～	財団法人シニアライフ振興財団 トレクォーレ横浜若葉台
6	「自分らしく生きる」～独居10年あまり、体力の衰え、気力の衰えからの脱却～	日総ニフティ株式会社 すいとぴー三ツ境
7	「畳の上で死にたい」～今、廻互（介護）を考える～	医療法人社団　白寿会 介護老人保健施設　青葉の丘

◆特別講演

「夕焼け小焼けでまた会える世界 」 布教使・笑い療法士　赤川　浄友氏

今回の研究大会のテーマ、「終の棲家」から一転、ピアノ演奏から始まり、リラックスと笑いの重要性と、免疫力UPの関係をお話頂きました。笑いは、自己治癒力を強めて、高齢者のケアや、ご家族への対応、自身の生き方にもプラスになることを改めて自覚した内容となりました。

◆表彰式

【最優秀賞】（フローレンスケア港南台）

「私、死んじゃうの？」～死と向き合うS様と共に寄り添って～

【優秀賞】（トレクォーレ横浜若葉台）

安心して終末期を送れる「終の棲家」を目指して～看取りチームを立ち上げての取り組み～

【特別賞】（介護老人保健施設　青葉の丘）

「畳の上で死にたい」～今、廻互を考える～

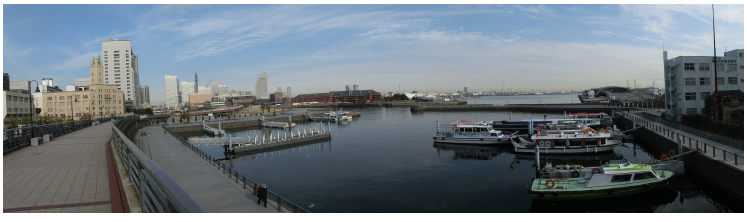
◆閉会式　　神奈川県特定施設研究大会　実行委員会　委員長

藤井研児氏

この度は、多くの皆様にご参加を賜り、誠にありがとうございました。

今大会が今後の皆様のご活躍のお役に立つことができましたら、幸いです。

どうもありがとうございました。



最後に、今大会の開催にあたりましては、現場の皆様には、司会から受付、舞台運営など多大なご協力をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。